

反訳書の書式サンプル

●標準・完全逐語コースの書式

1行目にタイトル(特に御指定がないときには音声ファイル名)が入ります。一つ一つの発言を「話者：発言内容」の形で表記します。

平成24年6月7日の会話

田中：こんばんは。

男性A：あっ、田中さん。お疲れ様です。

田中：で、今日は何？何かあんの、みんなで集まっちゃって。

大和田：わざわざ来てもらうほどのことじゃないのかもしれないんだけどね、やっぱりお金のことは確かめようかなって。

田中：えっ、お金？こないだ大和田さんが言ってたやつ？

大和田：そうそうそうそう。

●簡裁録音体コースの書式

タイトルは入らず、1行目から本文です。質問者が替わるごとに質問者の表示をし、問いは行頭3文字下げ、答えは行頭6文字下げで表記します。証拠を示した場合は行頭から文字下げなしで表記します。

原告代理人（鈴木）

あなたは、平成23年10月3日午後6時5分頃、東京都中央区築地1-4-5付近の路上を、自転車で通行していましたか。

はい。

甲第4号証を示す

これは事故現場付近の地図ですが、この地図でいうと、あなたは、自転車に乗って、この事故に遭った通りを下から上に走っていたのですか。

いいえ、上のほうから来て、下に向かっていってました。

～～～ 中略 ～～～

裁判官

念のため確認するけど、あなたは、転んだ瞬間っていうのは記憶にきちんと残っているのですか。

はい、ちょっとびっくりはしてはいたんですけど、割と冷静だったので記憶はよく残っていると思います。

以上